

発 言 通 告 書 要 旨 (1枚目/全4枚)

氏 名 若 林 高

発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
1	(1)	<p>一般社団法人てくてくの杜等との契約について 契約条件について</p> <p>政治的に関与している場合は契約破棄としているが、一般社団法人てくてくの杜の創設者の神谷氏は現在参議院議員であり、旧看護学校生徒宿舎の賃貸借契約をした一般社団法人てくてくの杜の共同事業者はイシキカイカク株式会社である。</p> <p>参政党の収支報告書によれば、党からの収入を神谷氏及びイシキカイカク株式会社も得ていることや、イシキカイカク株式会社が政治資金パーティーを主催し、参政党の利益を生んでいることなど、政治的に関与していることは明らかであり、直ちに契約破棄すべきものであると思うが、市の判断を示せ。</p>	
	(2)	<p>旧黒崎小学校の無償貸与について</p> <p>市内で小・中高生対象の学習塾に対し、民間の不動産会社などから無償で貸与している事例はあるのか。</p> <p>また、学習塾を経営する場合は、学習施設は所有地や有償で借りていることが大半であると考えますが、市内の学習塾についても施設を借りる際の経費がかからないよう補助金等で支援すべきであり、難しいのであれば、旧黒崎小学校の貸与条件を有償にすべきと考えるが、市の判断を示せ。</p>	
2		<p>スマートシティに関する実証実験について</p> <p>平成 28 年度に市がスマートシティを推進するきっかけとなった「地方版 I o T 推進ラボ」に認定されてから、スマートシティに関する様々な実証実験が行われてきたと思われるが、運用までに至らなかったものは何件あり、また、その事業費の総額は幾らになるのか。</p> <p>さらに、実証実験を行う際の協議については、どのように進めているのか。</p>	
3	(1)	<p>図書館活性化事業について 民間委託の事業費について</p> <p>現状の職員費等の経費と業務委託した場合の事業費はどのくらい異なるのか。</p> <p>また、なぜ業務委託を早急にしなければならないのか、その必要性について問う。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (2枚目/全4枚)

氏 名 若 林 高

発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
	(2)	<p>今後の対応について</p> <p>業務委託となる場合、現在、業務に従事されている方々は今後どのようなになるのか。</p> <p>また、委託先の職員が従事した場合、委託前の業務サービスに達するには相当の時間がかかると考えるが、業務サービスが低下しないのか。</p>	
	(3)	<p>定期的な施設の簡易点検について</p> <p>委託する主な業務の中に、定期的な施設の簡易点検が挙げられているが、施設の老朽化や洋式トイレの整備について、今後はどのように進めるのか。</p>	
4	(1)	<p>九谷焼後継者育成事業及び山中伝統漆器後継者育成事業について</p> <p>近年の助成制度志願者数の推移について</p> <p>各事業において、近年の助成制度志願者数の推移を示せ。</p>	
	(2)	<p>地域おこし協力隊への拡充について</p> <p>九谷焼後継者育成事業及び山中伝統漆器後継者育成事業では、月額3万円から5万円までの補助に対し、地域おこし協力隊は、給与が月額約18万円、その他活動経費最大200万円が補助されるとのことである。</p> <p>このことから、地域おこし協力隊として後継者を育成してはどうかと考えるが、所見を問う。</p> <p>また、現状の各事業を拡充する考えはないのか。</p>	
5	(1)	<p>加賀温泉駅南地区開発事業に関する構想提案について</p> <p>伝統工芸品のアウトレットについて</p> <p>11月9日の株式会社長工からの提案説明の中で、市の伝統工芸品のアウトレットも考えているとあったが、伝統工芸品の価値の低下や価格の引下げを招く恐れがあると思われるが、その対応は考えているのか。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (3枚目/全4枚)

氏 名 若 林 高

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
(2)	<p>未来型商業エリアの雇用形態について</p> <p>令和5年6月定例会で、市は複合型商業施設では雇用が2,000人程度であると答弁しているが、その雇用形態は正規雇用、非正規雇用どちらを予定しているのか。</p> <p>また、これを機に加賀温泉駅近辺で商店等を営んでいる同業者が閉店してしまうことが考えられるが、閉店する店舗数やそれに係る従業員などの失業者数は把握しているのか。</p> <p>失業者数が多ければ、2,000人という目標から遠のくことになるが、その対応は考えているのか。</p>	
(3)	<p>長期滞在型医療ツーリズムについて</p> <p>長期滞在型医療ツーリズムの対応により、加賀市医療センターで市民が処方を受けられなくなるなど、市民向けの医療が損なわれることがあってはいけないと思うが、その兼ね合いはどのようなになるのか。</p> <p>また、診察時間以外での労働を強いられるなど、職員等の負担が増えるようなことはないのか。</p> <p>さらに、このような取組を行っている他市の事例はあるのか。あるとすれば、その市の病院の数や人口規模も併せて示せ。</p>	
6	<p>加賀市版ライドシェアの実現について</p> <p>3月16日の北陸新幹線加賀温泉駅開業に向けて、交通の便の悪さの解消は早急な問題であるが、ライドシェアを行うことでタクシー会社と競合するなどの懸念もあると考える。</p> <p>市としてどのようなライドシェアを考えているのか詳細を示せ。</p>	
7	<p>学校給食について</p> <p>学校給食の石川県特別栽培米の使用について</p> <p>令和5年10月2日に、石川県は公立の県内全小・中学校の給食に農薬や化学肥料を慣行から50%以上減らした特別栽培米の提供を開始しており、今年度は全19市町と連携し、各校5日間の実施を目安とするとのある。</p> <p>加賀市でも特別栽培米を提供すると聞けるが、実施内容の詳細を示せ。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (4枚目/全4枚)

氏 名 若 林 高

発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
	(2)	市独自の展開について 県の事業だけでなく、今後、市として減農薬・無農薬の米や野菜等を学校給食に使用することは考えているのか。	